

動物実験委員会の開催日及び審議事項

	第1回動物実験委員会	第2回動物実験委員会
開催日	平成24年6月25日(月)	平成24年10月31日(水)
開催場所	事務局第6会議室	事務局第1会議室
審議事項等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度自己点検・評価(案)とその結果の公表について 2) 相互検証の申請手続き状況について 3) 飼養保管施設の廃止について ○ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 動物愛護法の改正について 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 動物実験に関する相互検証プログラムによる訪問調査について

動物実験の新規承認件数及び変更承認件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規承認	6	9	7	7	3	8	9	8	3	2	6	8	76
変更承認	13	8	10	5	10	4	14	6	8	8	13	17	116

飼養保管施設及び動物実験室の申請件数及び承認件数

	申請件数	改善なし承認件数	改善意見付与件数	改善後承認件数
飼養保管施設	4件	2件	2件	2件
動物実験室	3件	3件	0件	0件

動物種ごとの飼養保管状況

	マウス	ラット	モルモット	ハムスター	スネズミ	トリ	ウサギ	ネコ	サル	イヌ	ヒツジ	ブタ	合計
匹数	75,326	8,601	24	88	223	0	131	0	2	3	0	102	84,500

動物実験により得られた成果

発表論文件数 ※（ ）は投稿中で内数	発表学会件数	ポスター発表等
124編（10編）	39回	6件

教育訓練実施状況

先導生命科学研究支援センター（動物実験施設）

開催日	平成24年4月17日	平成24年4月18日	平成24年4月19日
受講者数	39名	39名	6名
開催日	平成24年5月11日	平成24年7月11日	平成24年7月20日
受講者数	4名	10名	4名
開催日	平成24年7月27日	平成24年8月3日	平成24年9月21日
受講者数	5名	5名	22名
開催日	平成24年10月17日	平成24年10月31日	平成24年11月15日
受講者数	2名	5名	3名
開催日	平成24年11月27日	平成24年12月3日	平成24年12月4日
受講者数	1名	1名	54名
開催日	平成25年1月11日	平成25年1月30日	平成25年3月7日
受講者数	11名	4名	6名

環境科学部

開催日	平成24年4月20日	平成24年4月25日
受講者数	3名	3名

水産学部

開催日	平成24年5月29日
受講者数	35名

動物実験に関する自己点検結果

○ 安全管理の状況

1. 安全管理の必要な動物実験（感染・組換え・放射線・発癌等化学物質）について、適切に管理されていた。
2. 必要な安全設備や衛生設備は整備されていた。

○ 実験動物の飼養保管状況

1. 飼養保管施設の管理及び保守点検は行われていた。

【取り組み例】

- ・ 飼育室の温度、湿度をモニターしている。
- ・ 朝晩定期的にチェックし、問題はなかった。

2. 飼養保管中の動物の数や状態については、管理されていた。

【取り組み例】

- ・ 台帳（動物飼育・実験記録簿）により搬入・処分記録を残し、飼育動物数を把握している。
- ・ 職員が定期的に数えている。

3. 実験動物管理者等が入手先等を示す記録を保有している。

【取り組み例】

- 動物納品書の写しを保管している。

4. 動物の逸走等に関する事故については、管理されていた。

【取り組み例】

- 事故報告を受けることになっているが、報告例はない。

○ マニュアルの記載内容について

1. いずれの施設も適正な飼養保管を行うためのマニュアルが作成され、必要な事項が記載されていた。

【取り組み例】

- 動物の搬入・検疫、飼育室の環境条件などがマニュアルに記載されている。
- 大災害発生の緊急時の危機管理の一つとして、逸走防止措置と逸走時の対応について、周知している。

○ 施設等の維持管理の状況

1. いずれの施設も概要を示す平面図を有し、維持管理されていた。

追加事項

承認された飼養保管施設の総数並びに主要な飼養保管施設の名称

- 承認された飼養保管施設の総数（平成 24 年 4 月 1 日現在）…………… 17 施設
- 主要な飼養保管施設 …………… 動物実験施設、薬学部動物飼育室

教育訓練の実施内容の概略

1. 関連法規、基本指針、詳細指針の解説
2. 長崎大学動物実験規則の解説
3. 動物実験施設飼養・保管マニュアルの解説
4. 飼育経費の負担について
5. 施設利用概略
6. 動物実験計画書等の全学書類解説
7. 動物飼育・実験申込書等の施設内書類解説
8. 安全管理を要する動物実験について
9. 実施状況・結果報告書について
10. 施設見学

長崎大学動物実験委員会

H.25.4.1 現在

区 分	役 割	所属等	専門分野
委員長 (2号委員)	②実験動物に関して優れた識見を有する者	先導生命科学研究支援センター	実験動物学(実験動物ウイルス学)
副委員長 (1号委員)	①動物実験等に関して優れた識見及び経験を有する者	環境科学部	放射線・化学物質影響科学、神経化学・神経薬理学、生物系薬学、薬理学一般、環境系薬学
委員 (1号委員)	①動物実験等に関して優れた識見及び経験を有する者	大学病院	内分泌学、免疫学
委員 (2号委員)	②実験動物に関して優れた識見を有する者	医学部	循環器内科学、生理学一般
委員 (2号委員)	②実験動物に関して優れた識見を有する者	熱帯医学研究所	免疫学、寄生虫学(含衛生動物学)
委員 (3号委員)	②実験動物に関して優れた識見を有する者	医学部	実験病理学、医化学一般、病態科学系歯学・歯科放射線学、機能系基礎歯科学
委員 (3号委員)	①動物実験等に関して優れた識見及び経験を有する者	歯学部	動物生理・行動
委員 (3号委員)	①動物実験等に関して優れた識見及び経験を有する者	薬学部	物理系薬学、生物系薬学、医療系薬学
委員 (4号委員)	③その他学識経験を有する者	教育学部	食生活学、食品科学、その他(皮膚栄養学)
委員 (5号委員)	③その他学識経験を有する者	事務局	
委員 (6号委員)	③その他学識経験を有する者	水産学部	植物生理・分子